

日本子ども家庭福祉学会特別企画シンポジウム

「新たな子ども家庭福祉のあり方を考える」 －児童福祉法改正を巡る考え方と方向性－

- 日時：2016年10月1日（土）13:30～16:30
- 会場：立正大学 品川キャンパス
11号館 1152教室（定員150名）
- 参加費：無料
- 申込み：jscfw-sympo16@bunken.co.jp
（当日受付あり）

現在、新たな子ども家庭福祉のあり方を見直すために、国は審議会の専門委員会を立ち上げ、「児童」の定義の見直しを含め、大幅な児童福祉法改正を行っています。子ども・子育て支援法の施行を受けて、子ども家庭福祉の一領域である保育・子育て支援に関する施策をどのように考えるのかも大きな問題になっています。また増え続ける児童虐待や子どもの貧困問題の深刻化という社会的養護に関連して、子ども家庭福祉の重要性も高まっています。そのような中での児童福祉法改正という動きの背景や内容、今後の課題などを学び、今後の子ども家庭福祉のあり方について、議論を深める機会としたいと考えています。

シンポジスト（敬称略）

松原 康雄（明治学院大学）

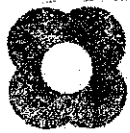
奥山真紀子（国立成育医療研究センター）

磯谷 文明（くれたけ法律事務所）

影山 孝（東京都児童相談センター）

コーディネーター 網野 武博（東京家政大学特任教授）

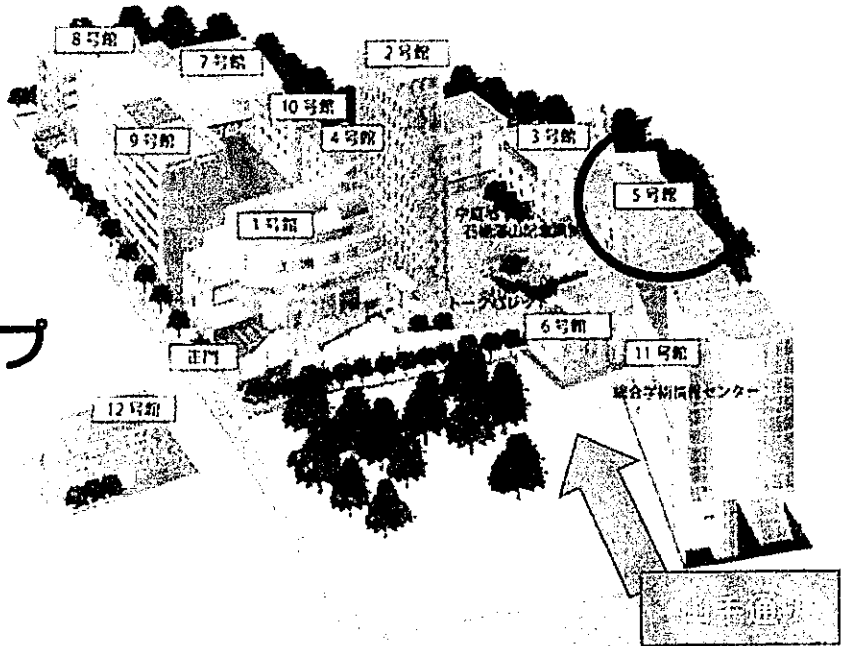
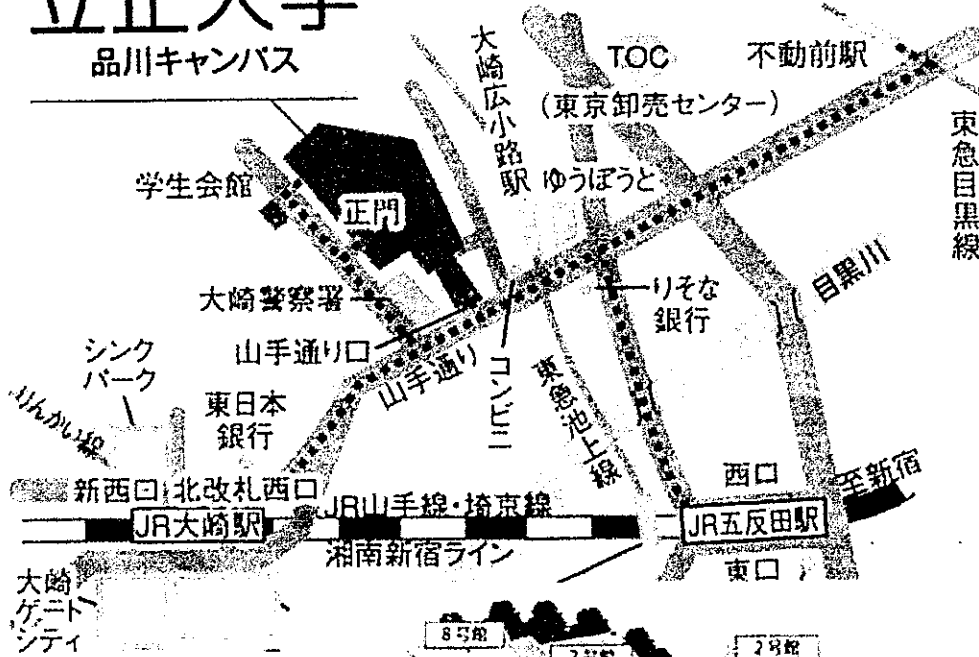
事前お申し込みは、9月25日までに日本子ども家庭福祉学会事務局（国際文献社）
特別企画受付アドレス：jscfw-sympo16@bunken.co.jp にメールにて御願いたします。
9月25日以降は、直接会場にて受け付けを御願いたします。



大崎駅、五反田駅から徒歩5分です！

立正大学

品川キャンパス



キャンパスマップ